



## 2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月9日

上場会社名 株式会社スリーエフ 上場取引所 東  
 コード番号 7544 URL <https://www.three-f.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 良介  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート統括・副統括 (氏名) 八木沢 実 TEL 045-651-2111  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2027年2月期第1四半期の連結業績(2026年3月1日~2026年5月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	3,755	2.8	397	15.2	399	15.4	118	18.0
2026年2月期第1四半期	3,651	7.0	344	37.7	346	37.9	100	38.1

(注) 包括利益 2027年2月期第1四半期 254百万円( 17.0%) 2026年2月期第1四半期 217百万円( 21.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	15.69	—
2026年2月期第1四半期	13.29	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期第1四半期	5,262	4,517	79.3
2026年2月期	5,758	4,852	71.9

(参考) 自己資本 2027年2月期第1四半期 4,175百万円 2026年2月期 4,140百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	7.00	—	11.00	18.00
2027年2月期	—	—	—	—	—
2027年2月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2027年2月期の連結業績予想(2026年3月1日~2027年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	7,650	0.5	765	△11.5	770	△11.5	185	△25.7
通期	15,100	0.1	1,330	△6.0	1,340	△6.2	300	△21.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2027年2月期1Q	7,707,095株	2026年2月期	7,707,095株
2027年2月期1Q	132,733株	2026年2月期	132,733株
2027年2月期1Q	7,574,362株	2026年2月期1Q	7,574,372株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2026年3月1日～2026年5月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善の動きがみられ、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中東情勢の影響によるエネルギー価格及び供給面への懸念、物価上昇による消費者マインドへの影響、金融資本市場の変動等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

コンビニエンスストア業界におきましては、生活防衛意識の高まりを背景とした来店頻度の低下などにより、客単価上昇に依存した売上構造が継続しております。加えて、人件費やエネルギーコスト・物流費の上昇により、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下、当社グループは、加盟店と同じ目線で一塊となって経営を推進していくために、中長期経営計画(2021年2月期～2027年2月期)において、「個店平均日販」と「加盟店利益」の継続的な向上を最重要指標と定め、「個店最適化」と「加盟店経営の安定化」を重点戦略とした各種施策に取り組んでおります。これらの取り組みを着実に推進した結果、2026年2月期において経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の数値目標をともに前倒して達成いたしました。現計画の最終年度となる2027年2月期は、これまでの投資を確実な成果(リターン)へと繋げる「収穫期」と位置付けております。加盟店と本部が同じ目線で一塊となって相互繁栄を実現する「一塊経営」のさらなる深化を図るとともに、次の10年における持続的な成長を見据えた新たな中期経営計画の策定を進めてまいります。

#### 当社グループ運営店舗の概況

##### [ローソン・スリーエフ]

株式会社エル・ティーエフが事業展開する「ローソン・スリーエフ」におきましては、ローソンチェーンの「ハピとく祭」をはじめとする積極的な販売促進活動等が奏功し、来店客数は前年を上回る状況が継続いたしました。これにより「個店平均日販」につきましても、引き続き前年を上回り、好調に推移しております。一方で、人件費などの店舗運営コストは持続的に上昇しているものの、さらなる売上向上策による加盟店支援を強化した結果、「加盟店利益」につきましても前年並の水準となりました。

運営面におきましては、引き続き「個店最適化戦略」を推進してまいりました。各店舗がそれぞれの地域において競合店に対する比較優位な売場を実現するために、品揃え拡充や販売促進に対する支援を継続・強化するとともに、ローソンチェーンのAIを利用した次世代発注システム「AI.CO(アイコ)」の活用強化を図り、粗利益率の向上と中食のさらなる売上向上に取り組んでおります。

商品面におきましては、ローソンチェーンによる「からあげクン感謝祭」等の強力な施策に加え、当社独自商品である「やきとり」の割引キャンペーン等の戦略的展開が相乗効果を発揮し、カウンターファストフードの売上が大幅に伸びました。また、高温の影響により、飲料やアイスクリームなどが売上を牽引いたしました。ローソン・スリーエフ独自商品につきましても、スリーエフ時代からのこだわりである店内で焼き上げた「やきとり」の計画的な新商品投入に加え、「もちぼによ」の割引キャンペーン、「チルド弁当」や「お総菜」の増量キャンペーンも実施し、ブランド訴求の強化と売上向上に寄与いたしました。

加盟店支援策としては、品揃え拡充や販売促進に対する支援を継続・強化しております。また、ブランド転換から10年という大きな節目を迎えるにあたり、フランチャイズ契約の再契約を順次推進しております。加盟店との絆を再確認し、次なるフェーズに向けて「一塊経営」のさらなる深化を図ることで、地域に根差した持続可能な店舗運営を実現してまいります。

店舗開発におきましては、出店・閉店を行わず、当第1四半期連結会計期間末の総店舗数は325店舗(フードデリバリーサービスの導入店舗数は276店舗)となっております。また、収益改善が見込めない店舗のリロケートを行うとともに、お客様の利便性向上を目的とした駐車場拡張等のハード改善を行うことで、競合店に対する競争力を戦略的に向上させてまいります。

##### [g o o z (グーツ)]

コンビニエンスストアに対するニーズの多様化に対応するため、当社が事業展開する「g o o z」におきましては、春行楽や大型連休をはじめとする行楽需要への対応等が奏功し、パーキングエリア店舗を中心に日販は堅調に推移しております。

運営面におきましては、各店舗の立地特性に応じた商品力の強化と、店舗オペレーションの効率化によるサービス品質の向上に取り組んでまいりました。

商品面におきましては、行楽需要の高まりにより、主力となるグーツコーヒーの売上が好調に推移いたしました。また、店内焙煎したコーヒー豆や狭山茶を使用したグーツオリジナルのソフトクリームなどが売上が牽引いたしました。旗艦店である「いちょう並木通り店」では、オリジナルのワンドリップコーヒーの販売と併せて、新たにコーヒーカウンターにおいて店内焙煎豆の対面販売を開始し、幅広い顧客層への対応を図っております。また、行楽客や旅行者に向けて、横浜エリアの土産品を中心としたギフト売場を展開するなど、新たな顧客層の獲得に取り組んでおります。

これらの施策を通じて、店内調理品の強みと各店舗の立地特性を活かした収益力の向上を図るとともに、店舗特性に応じた新たな収益モデルの構築を推進してまいります。

店舗開発におきましては、出店・閉店を行わず、当第1四半期連結会計期間末の総店舗数は3店舗となっております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の営業総収入は、37億55百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は3億97百万円（前年同期比15.2%増）、経常利益は3億99百万円（前年同期比15.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億18百万円（前年同期比18.0%増）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の財政状態につきましては、前連結会計年度と比較して総資産は4億96百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金の減少、未収入金の増加等によるものであります。

負債につきましては、1億60百万円の減少となりました。これは主に賞与引当金の増加、未払法人税等の減少等によるものであります。

純資産につきましては、3億35百万円の減少となりました。これは主に非支配株主への配当金の支払等による非支配株主持分の減少等によるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年4月9日に発表しました2027年2月期の連結業績予想について変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,768	4,167
商品	123	114
貯蔵品	0	0
前払費用	8	15
未収入金	215	323
その他	1	0
貸倒引当金	△3	△4
流動資産合計	5,113	4,617
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	51	49
工具、器具及び備品（純額）	12	11
土地	293	293
有形固定資産合計	357	354
投資その他の資産		
投資有価証券	38	36
敷金及び保証金	183	187
繰延税金資産	74	73
その他	32	30
貸倒引当金	△40	△38
投資その他の資産合計	287	290
固定資産合計	644	645
資産合計	5,758	5,262

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	56	63
未払金	184	196
未払法人税等	370	143
未払消費税等	128	105
預り金	15	23
賞与引当金	102	158
その他	16	25
流動負債合計	874	716
固定負債		
資産除去債務	9	9
長期預り保証金	18	16
その他	2	2
固定負債合計	31	28
負債合計	905	745
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	5,814	5,814
利益剰余金	△1,693	△1,657
自己株式	△86	△86
株主資本合計	4,135	4,170
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	4
その他の包括利益累計額合計	5	4
非支配株主持分	712	341
純資産合計	4,852	4,517
負債純資産合計	5,758	5,262

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年3月1日 至2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年3月1日 至2026年5月31日)
営業収入		
加盟店からの収入	2,548	2,665
その他の営業収入	22	21
営業収入合計	2,571	2,687
売上高	1,080	1,067
営業総収入	3,651	3,755
売上原価	787	779
売上総利益	292	288
営業総利益	2,864	2,975
販売費及び一般管理費	2,519	2,578
営業利益	344	397
営業外収益		
受取利息	1	2
営業外収益合計	1	2
経常利益	346	399
税金等調整前四半期純利益	346	399
法人税、住民税及び事業税	138	143
法人税等調整額	△11	0
法人税等合計	127	144
四半期純利益	219	255
非支配株主に帰属する四半期純利益	118	136
親会社株主に帰属する四半期純利益	100	118

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	219	255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△0
その他の包括利益合計	△1	△0
四半期包括利益	217	254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	99	117
非支配株主に係る四半期包括利益	118	136

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、コンビニエンスストア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	2百万円	2百万円